

### 2018確定闘争の到達点 (主要交渉事項)

#### 1 確定闘争での交渉結果

- (1) **給与改定**  
県人勤どおり5年連続の月例給・一時金の引上げ実現。12月定例会での条例提案の見直し。年内差額支給の方向で調整中の情勢。
- (2) **諸手当改善**  
・交通用具利用の通勤手当に関し、70km以上の距離区分新設は有効であり、高速道路利用と併せて検討していく事項。何等かの対応が必要と認識。課題意識を持ち人事委員会と意見交換を重ねるとの回答引出す(継続課題)。  
・ガソリン高騰の手当改定は、過去1年間の平均価格で判断するのが合理的(従前姿勢崩さず)。大幅変動時には引き続き協議(継続課題)。  
・住居手当改善は、沿岸部の家賃高騰の実態を踏まえつつも、県人勤を要す。国の動向を注視する(継続課題)。  
・赴任旅費改善は、他県での赴任旅費の特例を設けて対応している例がある。今後の対応は研究(継続課題)。
- (3) **専門職種処遇改善**  
・獣医師・薬剤師は、来年度から初任給を4号引上げる(医療職(Ⅱ)2級19号)。在職者調整も併せて行う。  
・農林漁業普及指導手当の支給開始時期の改善は、年度途中であっても、資格を取得し、普及指導業務を直接担う場合には支給可能。詳細は農林水産部と協議。今年度からの適用となるよう交渉継続中。
- (4) **休暇制度拡充**  
不妊治療への支援策は国の動向を踏まえ、他県の支援策を踏まえ検討(継続課題)。当面、取得しやすい環境とすべく運用面での改善を求めた。
- (5) **高齢層職員の処遇改善**  
給与制度の総合的見直しの現給保障対象者の動向に留意しつつ、主幹任用の拡大や勤勉手当の運用上の工夫を継続(継続課題)。4月以降の一層の対応が焦点に。
- (6) **人員確保策**  
・欠員解消に向けた決意示すも、具体的な欠員解消見通しを示さず。他県応援職員や任期付職員等の確保などあらゆる手段で人材確保に努める(継続課題)。  
・育休代替職員の確保策につき、他県事例(任期付職員の登録制度)を踏まえ検討(継続課題)。
- (7) **超過勤務課題**  
・勤務時間の適正管理に向け所属長に指導を継続。超過予算を12月補正で計上(3億4千万円余)。不足分への適正配分を要望。  
・来年4月施行の働き方改革関連法に係る客観的な勤務時間把握、36協定包括協定の更新は、秋期では実施を確認し、詳細は春闘での交渉課題に。

#### 2 会計年度任用職員制度(越年課題)

2020年4月施行の会計年度任用職員(臨時・非常勤職員の処遇改善)制度は、2月議会での関係条例の提案の見直しも、秋の段階で具体的な提案なし。当局は総務省マニュアルに沿った処遇を検討中も、初任給格付け・前歴換算などは不透明。1月ヤマ場の交渉で具体的な改善を実現させる必要がある。



▲2018確定闘争到達状況・今後の課題を確認した第5回拡大中央闘争委員会



月2回刊=1521号  
2018年11月30日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所  
盛岡市内丸10番1号  
岩手県庁内  
岩手県職員労働組合  
印刷所  
盛岡市上田二丁目17-4  
有限会社 ジロー印刷企画  
一部 40円  
組合員購読料は組合費に含む

## 確定闘争到達点踏まえ19春闘で前進を 県職労5回拡大中央闘争委員会開催

11月17日、第5回拡大中央闘争委員会を開催し、確定闘争の到達点を踏まえ今後の闘争課題について協議した。給与改定や獣医師等の初任給改善が実現するも、通勤手当等の改善は19春闘への継続課題とした。当面、会計年度任用職員制度創設の交渉に全力を挙げる。

**①給与改定**  
5年連続の月例給・一時金の改定について、12月議会での提案を確認。確実な年内差額支給を求める。

**②高齢層職員処遇改善**  
来年3月で給与制度の総合的見直しの現給保障が終了することから、交渉で激変緩和措置の創設を含めた

退職後が楽しみだ  
と思える幸せを実現します

退職後は月々1口3000円から掛金を積み立てて退職後の7年(医療「選択」給付を退職する時に選択)

お祝い金やお申し込みはコチラ

じちろうの長期共済

自治労共済本部

一層の対策を求めるも、更なる激変緩和措置は難しいこと、主幹任用や勤勉手当の運用上の工夫にこれまでに以上に取り組みとの総務部長の姿勢を引き出した。来年度4月を見据え、一層の対策の実現に向け取り組みを強化していく必要がある。

**③諸手当改善等**  
交通用具利用の通勤手当に係る70km以上の距離区分新設については、総務部長交渉において、遠距離通勤者の負担軽減に有効であり、高速道路利用の手当見直しも併せて検討していく必要があるとさせ、継続課題とさせた。ガソリン高騰に伴う手当改善は、総務部長交渉でも過去1年間の平均値での判断が合理的の主張を譲らなかつたものの、大幅変動時に交渉の余地を残さ

### 現業完全補充は職場総意の要求

#### 人事課長・部局意見踏まえ補充を検討

11月16日、現業評議会(山口耕司議長)は、現業統一闘争として、佐藤人事課長と交渉を行った。交渉に当たり、現業完全補充に当り、現業完全補充は現業・非現業一体となった職場要求であるとし、84分会の職場決議を手交し、前進回答を求めた。

**①現業職員の補充**  
再任用の希望は最大限配慮するとし、再任用を希望しない場合の対応は、主管

した。住居手当は改定には県人勤が必要との姿勢を崩せなかつたものの、職員の家賃実態を見ていく必要があるとし、継続課題とさせた。赴任旅費の改善(移転料の自己負担解消)なども継続課題となり、これらは19春闘をはじめ今後の闘争で実現をめざしていく。

**④専門職種処遇改善**  
獣医師・薬剤師に関し、来年度から初任給を4号給引上げ、医療職(Ⅱ)2級19号とし、在職者調整を行うとした。当該処遇改善で人材確保が解消されるとは言えず、引き続き先進県並みの改善を求める。

**⑤休暇制度**  
不妊治療への支援策は、国・他県動向を踏まえて検討

を訴え直営堅持を求めた。

**③現業職員の賃金改善**  
昨年度の交渉と同様に勤勉手当上の配慮は人事評価制度の本格運用が条件との姿勢を示したこと、人事評価制度は課題が大きいとしつつ、賃金改善がなければ勤務意欲が確保できないと指摘した。引き続く主管課交渉で前進回答を求めたい。

最後に人事課長から部局にも意見を伝え、課題意識を持ち検討との回答を引き出した。引き続き主管課交渉で前進回答を求めたい。



▲人事課総括課長と交渉する現業評交渉団



▲回答する佐藤人事課総括課長(右から2人目)

臨時国会が佳境を迎えている。内閣改造した安倍政権の全員の野球内閣はまたしても閣僚の資質が問題となった。1年前の国難突破解散と題した衆議院解散は何か。改造内閣自体が国難ともいえ、政治の劣化は著しい▼臨時国会では外国人労働者の受け入れ拡大に向け与党の拙速な議論が加速している。外国人の技能実習制度を逆手に取って低賃金・長時間労働が公然と行われている問題への具体的改善策も示さないばかりか、保健医療制度の具体像も不明瞭であるなど、不安材料山積の中、採決ありきでの審議ともいえる。

さらに憲法改正の議論も着々と進められている▼安倍政権が望む国は何か。入管法の問題以外にも、安倍政権は官邸主導で軍需産業の輸出などに躍りとなっている。労働者の改善ではなく、安価な労働力を確保と軍需産業の奨励による利潤の追求を進めるべく、障害となる憲法や諸法制度の秩序もお構いなしにする政権といえる。ここにはどこにも国民の福祉向上という言葉が見当たらない▼安倍政権が2012年12月にスタートして間もなく6年。無責任な安倍政権で国民のための政治はどう変貌したのか検証する節目の月となる。



# 4年ぶりの“スポ祭”に歓喜の声

## キンボールスポーツと玉入れで盛り上がる

### 一団体戦の優勝は胆江支部

県職労第32回スポーツ祭典を4年ぶりに復活させ、11月10日(土)に雫石町営体育館を会場に開催した。昼の部では、団体戦として近年日本でも広がりつつあるキンボールスポーツと玉入れ競技を実施。キンボールスポーツは、20年程前に、カナダから日本に入ってきたという。年齢に関係なくチームが一丸となれる、そして息を合わせた動きが必要とあって、ボールの扱いが意外と難しかったものの、参加者みんなが盛り上がった競技だった。また、玉入れ競技では、小学生以

来となる方も多く、昔を思い出した職員もいたとか。個人戦では、県職労〇×クイズとして労働組合に関するクイズと時事問題を出題。労働組合に関する問題では、正解者が多く、勝敗を分けたのは時事問題だった。夜の部では、会場を清温荘に移し、全体交流会・表彰式が行われました。交流会では、県職労バンドによる演奏会も催され、会場を大いに盛り上げた。

企画・運営へご協力いただいた方々をはじめ、参加者の皆さんのご協力により、無事祭典を終了できたこと



▲「団体戦優勝」喜びの胆江支部

はいかがでしょうか。【競技の結果】団体戦優勝 胆江支部 個人戦優勝 北上・加藤ひろみ(書記)、胆江・岡本拓哉(県税部)

に感謝を申し上げるとともに、祭典を通じてのリフレッシュ、そして団結を深められたのではないだろうか。今回不参加だった職員の皆さん、次回は参加してみたい

【執務環境改善】 工事成果品の保管場所確保について「所属に課題を確認し対応する」。また、土木管理課職員への被服貸与対応には「規程に基づき支給」との姿勢であったことから、交渉団から管理担当職員も支給対象とするよう改善を求めた。

【特殊勤務手当関係】 県営住宅管理業務への手当創設に関し、「国や他県均衡を考慮する必要があり難しいが、公所の意見を踏まえて検討する」。用地交渉手当改善は、「公所の状況を把握して必要な検討を

【人員確保・人材育成策】 人員確保・年齢バランスに応じた人員配置に関し、「あらゆる手段で確保に努める。特に電気職は優先的に確保する」、適正な年齢バランスの配置について「社会人採用も進め、中長期的視点も持ちながら解消に努める」とした。人材育成策に関しては、「技術専門研修のほか、各職場でもフォローできる体制構築に努める」とした。

【超勤課題】 超勤手当に関し、「災害

【管財課・農林水産企画室・県土整備企画室交渉】 希望しないとした農業大学山本管理課長は、再任用校技能員・水産技術セン

【管財課交渉(16日)】 山崎総括課長は、運転技士に、需要増等もあり現行定数の維持が必要であると、再任用満期の運転技士の補充を含めて検討中との姿勢を示した。交渉団から車庫運転技士17人体制となり、1人平均3、500km超の運転実績となつて



▲県土整備部との交渉する土木協議会交渉団



▲土木協側の発言にメモを取る小原県土整備企画室長(中央)

【管財課・農林水産企画室・県土整備企画室交渉】 山本管理課長は、再任用校技能員・水産技術セン

【管財課交渉(16日)】 山崎総括課長は、運転技士に、需要増等もあり現行定数の維持が必要であると、再任用満期の運転技士の補充を含めて検討中との姿勢を示した。交渉団から車庫運転技士17人体制となり、1人平均3、500km超の運転実績となつて

【管財課交渉(16日)】 山崎総括課長は、運転技士に、需要増等もあり現行定数の維持が必要であると、再任用満期の運転技士の補充を含めて検討中との姿勢を示した。交渉団から車庫運転技士17人体制となり、1人平均3、500km超の運転実績となつて

【管財課交渉(16日)】 山崎総括課長は、運転技士に、需要増等もあり現行定数の維持が必要であると、再任用満期の運転技士の補充を含めて検討中との姿勢を示した。交渉団から車庫運転技士17人体制となり、1人平均3、500km超の運転実績となつて

【管財課交渉(16日)】 山崎総括課長は、運転技士に、需要増等もあり現行定数の維持が必要であると、再任用満期の運転技士の補充を含めて検討中との姿勢を示した。交渉団から車庫運転技士17人体制となり、1人平均3、500km超の運転実績となつて

【管財課交渉(16日)】 山崎総括課長は、運転技士に、需要増等もあり現行定数の維持が必要であると、再任用満期の運転技士の補充を含めて検討中との姿勢を示した。交渉団から車庫運転技士17人体制となり、1人平均3、500km超の運転実績となつて

【管財課交渉(16日)】 山崎総括課長は、運転技士に、需要増等もあり現行定数の維持が必要であると、再任用満期の運転技士の補充を含めて検討中との姿勢を示した。交渉団から車庫運転技士17人体制となり、1人平均3、500km超の運転実績となつて

土木協議会 県土整備部交渉

一部改善姿勢も、多くは継続に

未協・来年度も闘争サイクル確立に全力を

【人員確保・人材育成策】 人員確保・年齢バランスに応じた人員配置に関し、「あらゆる手段で確保に努める。特に電気職は優先的に確保する」、適正な年齢バランスの配置について「社会人採用も進め、中長期的視点も持ちながら解消に努める」とした。人材育成策に関しては、「技術専門研修のほか、各職場でもフォローできる体制構築に努める」とした。

【超勤課題】 超勤手当に関し、「災害

【管財課・農林水産企画室・県土整備企画室交渉】 希望しないとした農業大学山本管理課長は、再任用校技能員・水産技術セン

【管財課交渉(16日)】 山崎総括課長は、運転技士に、需要増等もあり現行定数の維持が必要であると、再任用満期の運転技士の補充を含めて検討中との姿勢を示した。交渉団から車庫運転技士17人体制となり、1人平均3、500km超の運転実績となつて

【管財課交渉(16日)】 山崎総括課長は、運転技士に、需要増等もあり現行定数の維持が必要であると、再任用満期の運転技士の補充を含めて検討中との姿勢を示した。交渉団から車庫運転技士17人体制となり、1人平均3、500km超の運転実績となつて

【管財課交渉(16日)】 山崎総括課長は、運転技士に、需要増等もあり現行定数の維持が必要であると、再任用満期の運転技士の補充を含めて検討中との姿勢を示した。交渉団から車庫運転技士17人体制となり、1人平均3、500km超の運転実績となつて

## 土木協議会 県土整備部交渉

# 一部改善姿勢も、多くは継続に

## 未協・来年度も闘争サイクル確立に全力を

に基本姿勢を質すべく交渉を行った。一部は改善の姿勢であったが、継続課題が多いことから、引き続き職場討論・要請書提出・交渉を進めていく。概要は次のとおり。

### 【人員確保・人材育成策】

人員確保・年齢バランスに応じた人員配置に関し、「あらゆる手段で確保に努める。特に電気職は優先的に確保する」、適正な年齢バランスの配置について「社会人採用も進め、中長期的視点も持ちながら解消に努める」とした。人材育成策に関しては、「技術専門研修のほか、各職場でもフォローできる体制構築に努める」とした。

### 【超勤課題】

超勤手当に関し、「災害

### 【特殊勤務手当関係】

県営住宅管理業務への手当創設に関し、「国や他県均衡を考慮する必要があり難しいが、公所の意見を踏まえて検討する」。用地交渉手当改善は、「公所の状況を把握して必要な検討を

### 【執務環境改善】

工事成果品の保管場所確保について「所属に課題を確認し対応する」。また、土木管理課職員への被服貸与対応には「規程に基づき支給」との姿勢であったことから、交渉団から管理担当職員も支給対象とするよう改善を求めた。

## 現業職員の補充強く要望

### 主管課交渉で実態を訴える

希望しないとした農業大学山本管理課長は、再任用校技能員・水産技術セン



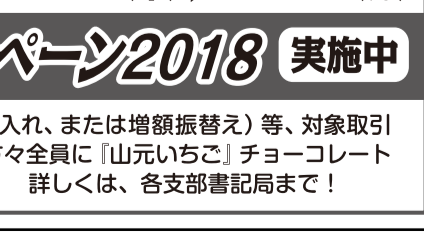
▲農林水産企画室の山本管理課長と交渉する現業評



▲人事課総括課長交渉時に提出した「職場決議」(写し)を手渡す佐藤長市さん(右)



▲県土整備企画室・高井管理課長と交渉



▲管財課山崎総括課長と交渉する現業評(左側)

## 胆江支部 労働環境改善などで独自交渉

### 清水 振興局総務部長に要求書提出

胆江支部は、10月23日、清水一夫県南広域振興局総務部長に対し「支部独自要求書」を提出し、交渉を行った。

冒頭、鳥屋部書記長より要求の内容について説明を行った後、長沼支部長から、職場実態に基づいた施設の設備維持管理、労働環境を

中心とした要求について確認を行った。その中で、特に毎年、要求項目に答がっている「全職場に網戸設置すること。各庁舎、公舎、車庫の老朽化に伴う設備改善。福利厚生施設、合庁売店の経営悪化の懸念される自販機公募について考慮すること」などについて要求

された。総務部長からは「駐車場の舗装、タコ足配線など設備改善については県庁と相談したうえで回答したい」、また、職場環境改善については、「今季はエアコンの稼働時間も考慮した。物理的なこともあるが改善に努力していきたい。庁舎、公舎だけではなく車庫も老朽化していることから、現在、優勢順位を決めて順次改修している状況である」と示された。

▲振興局総務部長と交渉する胆江支部三役(左中央が長沼支部長)

東北ろうきん 11/1(木)▶12/31(月) **ウィンターキャンペーン2018** 実施中

・定期預金(5万円以上の新規預入れ、または増額振替え)等、対象取引のいずれかをご利用いただいた方々全員に『山元いちご』チョコレートランチ(7個入り)プレゼント! 詳しくは、各支部書記局まで!